

# いちのみやの芸術文化

一宮を学ぶ  
特集

美濃路(起宿)と朝鮮通信使2

- 加入団体の紹介
- 第65回一宮市美術展入賞者
- これからの催し
- 文化講演会(報告)



2007.12

第3号

一宮市芸術文化協会

朝鮮通信使行列図(部分)

一宮市には、一宮市博物館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

## 美濃路(起宿)と朝鮮通信使2

### 起宿…

一宮市内には美濃路の宿場として起宿と萩原宿がありました。起宿は正徳元年(一七一二)以降、朝鮮通信使が通行した際の休憩所としての役割を担っていました(それまでは墨俣宿)。大垣を出発した朝鮮通信使は揖斐川・長良川・境川・木曾川の船橋を渡って起宿に入り、そこで馬と鞍を替え、次の宿泊場所である名古屋に向かいます。朝鮮通信使の派遣は数年〜数十年に一度の割合であり、起宿にとっても大きな出来事でした。その行列を見るために多くの人々が起宿に集まりました。その人数の多さに朝鮮通信使も驚いたと伝えられています。

朝鮮通信使が使用する馬と鞍は各藩が

負担し、そのための仮小屋と厩うまやが起宿の郊外に作られました。その時、起宿には御三家の紀州藩をはじめ、全国十家以上の藩の家臣が集結しており、宿の手配等、その接待をも各藩から依頼され、起宿は朝鮮通信使の通行だけでなく、各藩の家臣の接待もしなくてはなりませんでした。

### 休憩所…

では、具体的に起宿は朝鮮通信使の通行に際してどう対応したのでしょうか。

まず、重要なのが二〇〇人を越える使節団の休憩場所です。享保四年(一七一九)の場合、本陣の加藤家には朝鮮通信使の中で最も重要な役割を持つ「三使」(正使・副使・従事官)が休み、脇本





陣の林家には朝鮮との外交の窓口でもある対馬藩主(宗家)が休みました。他にも家々や寺社が休憩所として使用されました。休憩には諸道具や食器の手配等様々な準備が必要で、朝鮮通信使を迎える準備は来日の一年以上前から始まります。起宿と尾張藩のやりとりを記録した膨大な史料からも、いかに、起宿がその接待、対応に準備をかけていたかが伺われます。朝鮮通信使の休憩時間は一時間前後でしたが、船橋をはじめ、その準備には多くの時間と人を費やしたのです。

▶ 朝鮮通信使行列図(個人蔵)



初めまして。木曾川ライトソングクラブです。皆さんも「ギターが弾けて歌が歌えたら楽しいのに」と考えたことはありませんか？私たちのクラブは『誰でもできる楽しい弾き語り』を目標にジャンルにとらわれず、自分の歌いたい歌を仲間と“ワイワイ”言いながらフォーク、ロック、ニューミュージック、時には演歌と幅広い曲目を楽しんでいます。

月2回、第1・3土曜日に木曾川公民館（旧木曾川町役場2階）講堂で仲間が持ち寄った楽譜を囲んで、その曲を知っている者が指導者となり教え合うというスタイルでクラブを進めています。

とにかく楽しく大きな声で歌っています。公園にイスとギターを用意してピクニックをしてみたり（周りの人から見れば、変な集団なんです）、11月には木曾川町芸能祭・文化祭に出演して、大

して上手でもない演奏をしてもっと練習しようと反省してみたり、楽しかったからまあいいかと思ったりしながら、またやろうなと皆で言い合っています。12月には県文連西尾張部芸能大会に一宮市芸術文化協会の代表として出演させていただき、メンバー全員とても楽しく演奏することができました。

【問合せ先】竹内 広 ☎87-3606



練習風景

関心流日本興道吟詩会は、大阪に総本部があり、真和支部は愛知県本部の下で、活動しています。真和支部の前身は一宮地区で真清吟詩会が元祖であり、その創設には(故)斉藤幽洲・芳純先生ご夫妻が尽力され、市の協力を得て昭和37年に発足をみました。その後、会員も増加したため、各地域で独立することになり、当真和支部、蘇南支部、西尾張支部、興風支部、五鈴支部、明興支部の6支部が誕生し、今では盛大に発展を成し遂げています。真和支部では各個の会が27会あり、それぞれ各地区の公民館や集会場、あるいは自宅で週1回の練習日を決め、担当の先生の指導を受けています。また年間5回、真和支部としての錬成会を行います。10月28日には一宮吟剣詩舞協会の各会派の会長先生をお招きし、アイプラザ一宮で30周年記念大会を盛大に催しました。

詩吟は難しいとの声を聞きますが、演歌・民謡・謡曲・浪曲等それぞれにリズムがある様に詩吟にも3～4通りのリズムがあり、その組み合わせで吟ずるので、リズムさえ身に付けば難しくはありません。腹式呼吸によって心身を爽やかにし、皆で合吟することで親睦感が深まります。

是非お近くの会においで下さい。

【問合せ先】鎌田 猛 ☎45-2877



5年毎に行う支部大会

～家庭に“生け花”を～

私達は「尾西華道展」を発表の場と目標を定め、生け花の稽古を楽しんでいる団体です。花展に出瓶し、人様に見て頂く晴れの舞台を得る事は、程好い刺激、緊張感と共に目標達成の喜びを得る絶好の機会です。市民が気軽に楽しみ、芸術文化育成に繋がる「発表の場」をこれからも設けられる様、よろしく御支援願いたいと思います。

私達の年代の多くは、花嫁修業のひとつとして生け花等の習い事をしたものです。私も御多分に洩れず「茶華道」を始めました。お陰様で何時も花が有る暮らしをし、草木にも深く興味関心を持つようになりました。人生を楽しむ幅が広がったとも考えます。現在習っている方々に「生け花を習っているメリットは何？」と尋ねると、「家族が喜んでくれる」「花のある生活が自分自身と家

族に、爽やかさと癒しを与えてくれる」「生け花の上達と共に家庭環境づくりに大きな役割がある」と答えてくれます。

「キレ易い」、「自分さえ良ければいい」等々…殺伐とした今の世の中。このような時代だからこそ、ゆったりとした心豊かな温かい生活を取り戻したいものと切に念じます。

【問合せ先】木野 文工 ☎69-1680



◀稽古風景

尾西絵画クラブは、絵を描く仲間が集まった自由で楽しいサークルです。平成10年11月の三岸節子記念美術館の開館を機に、11年3月から美術館実習室で、月1回水彩油彩を主とした絵画教室を開きました。また当時の尾西文化協会に登録し、尾西市民展、会員展に参加出品もしてきました。13年5月に開催した第1回グループ展以後、個展、5人展等を開催してきました。

平成16年に尾西美術連合の創設に加わり、第1回尾西展を開催しました。これは旧一宮市、旧木曾川町の地域からも絵画、写真の出品を得て、18団体が参加する大規模な展覧会となりました。以後毎年開催しています。今年4月、新たに一宮市芸術文化協会に登録し、一宮市美術展、一宮市新総合美術展にも出品しました。

平成20年当クラブは、発足10周年を迎えます。

節目を迎えるにあたり、この10年間の集大成としての作品制作に取り組んでいます。そして、来年3月4日～9日には、一宮市三岸節子記念美術館において「発足10周年記念尾西絵画クラブ展」を開催する予定です。皆様方のご来場をお待ちしています。

【問合せ先】三輪 清弘 ☎62-8535



◀三岸節子記念美術館にて

# 第65回一宮市美術展



会場風景

11月15日(木)から18日(日)まで、一宮スポーツ文化センターで「第65回一宮市美術展」が開催されました。

市内や近隣市町村を中心に、県外からも多数作品が寄せられ、出品者は625名で、審査の結果、入賞となった175点をはじめ、614作品が展示されました。期間中は、約5,500人の方が会場を訪れ、作者の熱意・エネルギーを感じさせる多数の作品を熱心に鑑賞されました。

各部門で入賞された方は、次のとおりです。なお、同一賞内での掲載順は順不同です。(敬称略)

## 日本画

審査員 星野哲弘

河村明美

市長賞

高田とみ子

教育委員会賞

水谷喜久子

美術展賞

甲賀春美

奨励賞

星野真由 三矢菜穂子

山田勝利

入選 26点



日本画部門解説

## 洋画

審査員

山田 彊一

梅村 孝之

岩田 安郎

後藤 泰洋

高山 悟

三輪 清弘

市長賞

伊藤敏行

神谷尚孝

清水 富貴子

山田 光代

美術展賞

丹慶 哲宏

山田 なつ実

香川 絹代

加納 静子

梅田 恵子

木村 周子

伊藤 初江

馬場 信子

渡辺 ゆき子

内藤 啓善

中村 宏美

奨励賞

米津 美代子

藤井 忍

山崎 澄

小出きよ子 佐藤幸子  
関セツ子 柴田順子  
池田美保代 五藤寿子  
布谷四六 神谷久子  
平野肇 水巻久美子  
磯部静子 三谷和子  
宮川芳己 林夕美子  
野崎耕世 滝川富喜子  
山田昭六

入選 174点

## 彫刻・立体

審査員 森 克彦

川原 孝文

市長賞

杉木 祐太

教育委員会賞

野田 茜

美術展賞

宮田 耕作

奨励賞

森 孝行

入選 15点

## 工芸

審査員 亀井 勝

鷓飼 辰郎

市長賞

下田 心一

教育委員会賞

松岡 孝司

美術展賞

加藤 陽子  
山田 俊子

田中 美恵

奨励賞

倉田 芳美  
伊藤 泰弘

田中 彰子  
伊藤 晴康

近藤 きみ子

入選 35点

デザイン

審査員

源 安孝  
岡崎 美穂

市長賞

丸山 真奈弥

教育委員会賞

青木 里紗

美術展賞

山田 なつ実  
藤井 久奈

清水 香織

奨励賞

脇田 光健  
佐藤 美文

丸井 響子  
稲葉 大喜

入選 32点

書

審査員

種村 山童  
安藤 滴水

小原 紫明

亀山 雪峰

武山 翠屋

橋本 流水

林 大樹

村田 光柁

市長賞

阿部 舟花  
萩原 鳳苑

三浦 景波

教育委員会賞

中村 彩香  
近藤 晴翠

尾中 杉得  
大竹 澄青

渡邊 水香

美術展賞

飯田 美扇  
古川 白萩

酒井 光華  
岸田 松峰

神谷 静苑  
吉田 寿川

戸谷 嘉恵  
小島 華扇

佐分 恁華  
浅井 妍翠

荒川 征世  
真野 藤麗

宮代 翠霄  
大西 影慕

岩田 展穂  
平松 豊泉

加地 孤握  
佐合 華婉

長崎 成秀  
酒井 淑婉

岩田 佳川  
後藤 庭華

長澤 美峰  
遠藤 新枝

奨励賞

辻村 祥泉  
永田 張羽

林 華泉

今井 青翠

吉田 翠亭

三輪 華苑

野々垣 清城

鈴木 鶴扇

高木 白帝

深川 舟路

篠田 道子

西村 松花

伊藤 知佳

井上 嘉蓮

西垣 美茜

前田 佳峰

山本 彩恵

入選 230点

栗田 梢光

可児 長望

河合 花影

伊藤 恵里

廣田 祥華

玉腰 祥霞

安田 彩霞

川瀬 仁實

西垣 梨雪

岩田 波鮮

高取 翠揚

中山 橙香

花井 芝蘭

内藤 春翠

石井 玉華

花井 芝蘭

中井 芝蘭

高取 翠揚

岩田 波鮮

西垣 梨雪

川瀬 仁實

安田 彩霞

玉腰 祥霞

廣田 祥華

伊藤 恵里

河合 花影

可児 長望

栗田 梢光

美術展賞

中辻 義則

宮崎 久仁子

岸野 敏明

水野 大介

伊藤 和機

長谷川 隆光

青木 尚子

大田 茂男

塩田 郁夫

小鹿 美義

金山 明生

長谷川 蔦江

浅野 英次郎

野田 さとみ

入選 102点

伊藤 繁雄

加藤 初枝

安藤 治仁

大矢 真理子

桜井 悦子

小原 勇二

大野 寅雄

徳田 勝

水野 鐘二

渡辺 昭三

橋本 秀子

森田 正路

原 紹郎



写真部門解説

# 文化情報



「赤いチュチュ」 高山 悟

## 《市および市内公共施設の催し》

### 一宮市博物館

☎(46)3215

#### 企画展「くらしの道具〜今と昔」

日時 ● 1月5日(土)〜2月24日(日)

午前9時30分〜午後5時

(入館は午後4時30分まで、

月曜休館、以下同じ)

内容 ● 身近な「くらしの道具」を

通じて、時代・地域による

道具や生活の違いを紹介。

観覧料 ● 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

(以下同じ)

作品展「第19回手つむぎ・染め・織り展」

日時 ● 3月2日(日)〜16日(日)

午前9時30分〜午後5時

内容 ● 織維講座の受講生と卒業生

の木綿作品の展示。

#### 「民俗芸能公演」

日時 ● 3月23日(日)

午後1時30分〜午後3時

内容 ● 市の無形文化財に指定され

ている「民俗芸能」の公演。

### 三岸節子記念美術館

☎(63)2892

常設展の企画「モノへのまなざし

―色彩の追求―」

日時 ● 1月16日(火)〜4月6日(日)

午前9時〜午後5時(入館

は午後4時30分まで、月曜

休館)

内容 ● 芳醇な色で描いた室内画や

静物画を中心に、色彩を追

求した作品を紹介。

観覧料 ● 一般 320円

高大生 210円

小中生 110円

#### 美術館講座「絵ごころ講座」

日時 ● 2月5日(火)〜9日(土)

(全5回) 午前10時〜正午

内容 ● 初心者を対象にした絵画に

ついての講義と実技指導。

講師 ● モダンアート協会会員

鈴木俊二氏

受講料 ● 実技材料費 2,000円

申込み ● 応募期間中に美術館へ直

接、または往復ハガキ等

にて受付。(市広報でお

知らせします。以下同

じ)

#### 美術館講座「日本画を描く」

日時 ● 3月18日(火)〜23日(日)

(全5回) 21日(金)を除く

午後2時〜午後4時

内容 ● 初心者を対象にした日本画

についての講義と実技指導。

講師 ● 日本美術院院友

山本真一氏

受講料 ● 実技材料費 5,500円

### 尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

#### 特別展「小塚直持展」

日時 ● 2月2日(土)〜3月16日(日)

午前9時〜午後5時(入館

は午後4時30分まで、月曜

日休館)

内容 ● 地方の知識人の育成に貢献

した国学者「小塚直持」が

収集した1,200点を超

える蔵書や彼の周辺の人物

について紹介。

観覧料 ● 無料

#### 「懐かしのSPLERECORDコンサート」

日時 ● 3月20日(日)

午後1時30分〜午後3時30

分

内容 ● SPLERECORDの名曲を蓄音

機で鑑賞します。

入場料 ● 無料



## 尾西図書館

☎(62)8191

「ストーリー・テリング講習会」

日程 ● 2月13日～3月19日

毎週水曜日(3月5日を除く)

内容 ● お話を楽しむを学ぶ。

参加料 ● 無料

## 青年の家

☎(73)2400

「ヤングフェスティバル」

日時 ● 3月9日(日)

午前10時～午後3時

内容 ● 青年グループによる発表、展示、交流など市民とのふれあいを目的に開催。

## 一宮地域文化広場

☎(51)2180

「天体観望会」

日程 ● 1月11日(金)・12日(土)

火星、おとし座のかに星雲

(M1)

2月8日(金)・9日(土)

プレアデス星団(M45)

オリオン座大星雲(M42)

3月7日(金)・8日(土)

かに座のプレゼペ星雲(M44)

オリオン座大星雲(M42)

申込み ● 詳細はお問い合わせ下さい。

参加料 ● 無料

## 一宮市民会館

☎(71)2021

「劇団四季のファミリーミュージカル 魔法をすてたマジヨリン」

日程 ● 1月10日(木)

開演 ● 午後6時30分

入場料 ● S席4,500円

A席3,500円

B席3,000円

(全席指定 以下同じ)

自主文化事業

「西本智実&ロイヤルメトロポリタン管弦楽団 New Yearコンサート2008」

日程 ● 1月14日(祝)

開演 ● 午後2時

入場料 ● 大人5,000円

小中高生(スクールシート)2,500円

自主文化事業

「南こうせつコンサートツアー2008」

日程 ● 3月16日(日)

開演 ● 午後5時

入場料 ● S席6,000円

A席5,500円

## 一宮市尾西市民会館

☎(62)8222

「ケイコ・リー ジャズコンサート」

日程 ● 1月19日(土)

開演 ● 午後6時

入場料 ● 4,500円(全席指定)

自主文化事業

「KOBUDO〜古武道〜コンサート&ロビーコンサート」

日程 ● 2月2日(土)

開演 ● 古武道コンサート

午後6時開演

ロビーコンサート

午後5時開演

入場料 ● 2,500円(全席指定)

ロビーコンサートは入場無料

## 一宮勤労福祉会館

☎(77)6612

「教室合同作品展」

日時 ● 3月7日(金)～9日(日)

午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)

内容 ● 当会館主催教室の書道、日本画、水彩画、面打ちの作品を展示。

入場料 ● 無料

## 市生涯学習課

☎(84)0012

「いちのみや女性のつどい」

日時 ● 2月7日(木)

午後1時15分～3時45分

会場 ● 一宮市民会館

講師 ● 作家 落合恵子氏

入場料 ● 無料



申込み▼当日直接会場

『新年短歌会』

日時▼1月27日(日) 午後1時〜  
会場▼一宮スポーツ文化センター  
対象▼どなたでも(大会に先立ち  
詠歌を提出)  
参加料▼500円

『一宮美術作家小品展』

【問合せ先 一宮美術作家協会】  
☎(76)5040  
日時▼1月16日(水)〜21日(月)  
午前10時〜午後6時  
(21日のみ午後5時)  
会場▼ギャラリーるぼ  
入場料▼無料

『俳句会』

【問合せ先 尾西句会】  
☎(62)7658  
日時▼1月19日(土)・2月16日(土)・  
3月15日(土) 午後1時〜  
会場▼尾西生涯学習センター  
参加料▼1,000円

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】  
☎(73)5504  
日時▼1月27日(日)・2月24日(日)・

3月23日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター  
内容▼当季雑詠3句を当教室委員  
が指導します。

参加料▼無料  
申込み▼当日直接会場

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】  
☎(45)8045  
日時▼1月27日(日)・2月24日(日)・  
3月23日(日) 午後1時〜  
会場▼一宮スポーツ文化センター  
内容▼自由吟および課題吟を当社  
委員が指導します。  
参加料▼無料  
申込み▼当日直接会場

『支部講演会』

【問合せ先 中部日本書道協会  
一宮支部】☎(73)3513  
日時▼2月10日(日) 午後4時〜  
会場▼ザ・ブランドティアアラ高砂殿  
講師▼岡野楠亭 先生  
演題▼『書画の落款印について』  
入場料▼無料(一般聴講歓迎)

『発足10周年記念尾西絵画ク  
ラブ会員展』

【問合せ先 尾西絵画クラブ】

☎(62)8535

日時▼3月4日(火)〜9日(日)  
午前9時〜午後5時(4日  
は午後1時から、9日は午  
後4時まで)

会場▼三岸節子記念美術館  
入場料▼無料

『第3回吟詩舞道大会』

【問合せ先 剣詩舞道柳翠会】  
☎(62)4776  
日時▼3月9日(日)午前9時30分〜  
会場▼尾西グリーンプラザ  
入場料▼無料

『おさらい会』

【問合せ先 民謡長澤会】  
☎(62)6768  
日時▼3月15日(土) 午後1時〜  
会場▼尾西グリーンプラザ  
入場料▼無料

『創立13周年記念日本報道写  
真連盟 真清支部展』

【問合せ先 日本報道写真連盟  
真清支部】☎(61)0814  
日時▼3月19日(水)〜24日(月)  
午前10時〜  
会場▼ギャラリーるぼ  
入場料▼無料

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】  
☎(72)7690  
日時▼1月12日(土)・2月9日(土)・  
3月8日(土) 午後1時〜  
会場▼葉栗公民館  
内容▼各自10句持参、互選により  
優秀作を記録に残します。  
参加料▼年会費4,000円

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】  
☎(72)6606  
日時▼1月13日(日)・2月10日(日)・  
3月9日(日) 午後1時〜  
会場▼一宮スポーツ文化センター  
内容▼当会委員により実作指導し  
ます。  
参加料▼無料

## 『剣舞・歌謡詩舞教室』

【問合せ先】 神道一刀流尾西剣詩舞会 ☎(062)6650

日時▼毎週金曜日午後1時～  
会場▼尾西生涯学習センター西館他  
参加料▼1ヶ月3,000円  
申込み▼当日直接会場

## 『加入団体の催し』欄に情報を掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体の活動情報を募集します。掲載を希望される団体は、発行月3・6・9・12月の前月1日までに、下記の必要事項を任意の様式にて記入の上、事務局まで提出してください。

### 必要事項

①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場  
⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他必要事項

### 提出先

〒493-8511 一宮市芸術文化協会事務局(住所不要)  
または FAX 0586-86-1809

## 県文化協会連合会の催しなど(報告)

### 【愛知県文連美術展】

10月23日(火)～28日(日)、愛知県美術館8階ギャラリーを会場に第32回愛知県文連美術展が開催されました。本協会からは(日本画の部)今枝昭さん、嶋千世子さん、(洋画の部)伊藤知佐子さん、北尾千鶴さん、高間輝夫さん、平林緑さん、山田豊さんが入選されました。また(工芸の部)澤田進治さんの作品「生命の記憶」(左写真)が特選に選ばれました。



### 【愛知県民茶会(尾張部)】

11月25日(日)、津島市文化会館他において、県民茶会が行われました。当協会からも一宮茶道連盟の皆様が津島神社参集所で設席をさ

れ、終始会場は、人と人との出会い、お互いの真心を大切に。「茶の湯の精神」に包まれた温かいものとなりました。



一宮市設席風景

### 【愛知県文連西尾張部芸能大会】

12月2日(日)、江南市民文化会館において、西尾張地区13市町村の文化協会の代表が一堂に会して芸能大会が行われました。当協会からも木曾川ライトソングクラブの皆様が出演しました。最初は緊張した様子が伺えましたが、演奏

が始まるにつれ普段の練習の成果を思う存分に発揮され、会場からは盛大な拍手が送られていました。

### 愛知県 表彰条例による表彰

11月2日(金)、愛知県庁において第59回愛知県表彰式が行われ、当協会の顧問 岩田哲夫氏が、教育文化功労者として、その永年にわたる文化協会での功績を讃えられ、愛知県知事より表彰を受けました。心よりお慶び申し上げます。



# 世界一聴きたい文化講演会

## 〜おもしろ日本語講座〜

### 金田一秀穂さん



10月21日(土)、一宮市尾西市民会館にて、文化講演会が開催されました。

テレビ等でご活躍中の国語学者金田一秀穂さんをお招きし、「世界一聴きたい文化講演会〜おもしろ日本語講座〜」と題してご講演いただきました。

#### 【講演要旨】

NHKアナウンサーの人はちゃんとした日本語を話してくれるのですが、彼らが一日中あのしゃべり方をしているか？

家に帰ってきて、「ただいま

帰宅しました。空腹を感じております(笑)」って言うかというと言わないんですよ。「今日は季節外れの寒さでございました。私入浴を欲しております(笑)」って言ったら、奥さんびびくりしちゃうわけです。「リストラされちゃったんじゃないの？不祥事に巻き込まれちゃったんじゃないの？」色んな心配をして不愉快になるわけです。心地悪いわけです。それより「今日は寒かったから、早く風呂入りてーな」と言つと、「じゃあお湯沸かしておくわよ」と言うように気持ちの良いコミュニケーションができるわけです。いわゆるきちんとした日本語をしゃべったからと言って、心地良いかはわからないわけです。むしろ心地悪いわけです。

逆に奥さんがきちんとした日本語をしゃべると心地悪いことがあるんですよ。例えば、家に帰ってきて、「ねえねえ、聞いてよ。聞いてよ」と言われれば、「どうしたの？」と話を聞きます。ですが、帰ってきて奥さんに、「あなた、お話がございませ(笑)」って言われたら嫌じゃないですか。何ばれちゃったんだらう。あれが悪かった。これが悪かった。「どうも申し訳ありませんでした」って言いたくないってしまっじゃないですか。心地悪いわけです。きちんとした日本語だからそれがいいかと言つと、大間違いなんです。きちんとしていても、良くない事もあるんです。きちんとしていない「ただいまあ」「ねえねえ」みたいな日本語の方が、私

達にとつてずっと心地良いわけですよ。

それはどういふことかと言つと、正しい日本語は、たったひとつしかないと言つわけではなんですよ。実はそれぞれの日本語が正しいのです。「相手がどんな人か？」「どんな場面か？」「自分の立場はどんな立場か？」「この3つの要素によって、言葉遣いの違ういろんな日本語の中の「これ」というのを選び出すわけです。どの日本語を選ぶかということは、とても大切なことなんです。日本語はそれぞれに心地良さを持っているのです。

※公演は好評裡に終了しました。ありがとうございました。

『いちのみや文芸2007』を刊行しました。随想・随筆、現代詩、漢詩、短歌、俳句、川柳、狂俳合わせて412名の方から寄せられた3188作品を掲載しています。1冊800円で、市生涯学習課(木曾川庁舎)にて販売しています。貴方も是非一度お読みください。

[題字] 武山翠屋  
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)  
〒493-8511 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り27番地  
TEL 0586-84-0013 / FAX 0586-86-1809